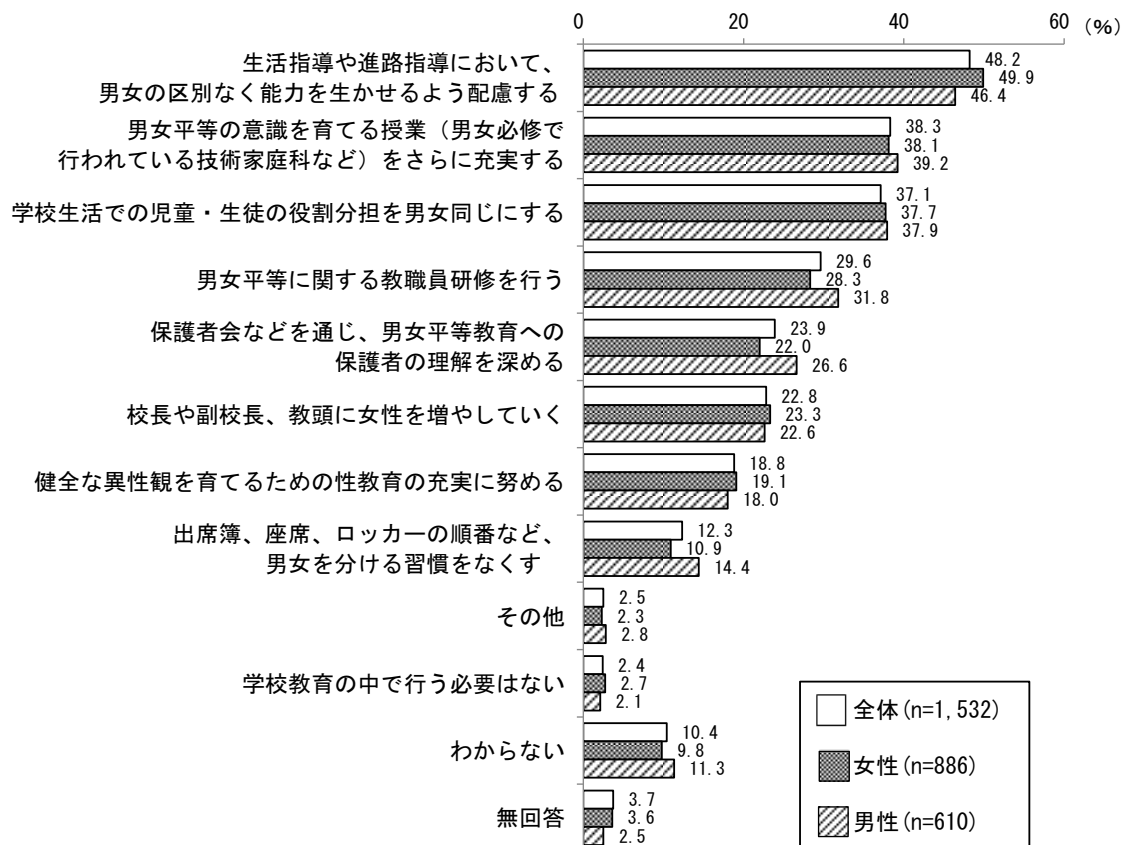


6 男女平等教育について

(1) 男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと

問 22 男女平等を推進していくために、学校、特に小・中・高等学校等で行うとよいと思うものはどれですか。【〇印はいくつでも】

【図表 22-1 男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと】



◆「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」が約5割で最も高い

男女平等を推進していくために学校で行うとよいことについて、「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」が48.2%と最も高く、次いで「男女平等の意識を育てる授業（男女必修で行なわれている技術家庭科など）をさらに充実する」（38.3%）、「学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする」（37.1%）などの順となっている。

性別にみると、男女ともに「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」（女性：49.9%、男性：46.4%）が最も高くなっており、女性が男性を3.5ポイント上回っている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、男女ともに、女性20代、男性20代、50代を除いて「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」が最も高くなっている。また、女性20歳未満、男性20代を除くすべての年代で「男女平等の意識を育てる授業（男女必修で行なわれている技術家庭科など）をさらに充実する」が上位に入っている。

【図表 22-2 男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと（性・年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする		50.0	校長や副校長、教頭に女性を増やしていく		35.7
		生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する					
	20代	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	42.9	校長や副校長、教頭に女性を増やしていく	39.3	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	32.1
				男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する			
	30代	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	41.6	男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する	38.2	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	28.1
	40代	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	52.1	男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する	41.8	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	39.7
50代	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	51.3	男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する	45.5	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	35.1	
60歳以上	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	53.1	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	38.7	男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する	35.1	
男性	20歳未満	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	46.7	男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する	33.3	健全な異性観を育てるための性教育の充実に努める	26.7
				わからない			
	20代	校長や副校長、教頭に女性を増やしていく	41.0	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	38.5	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	35.9
	30代	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	48.0	男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する	44.0	男女平等に関する教職員研修を行う	34.0
				校長や副校長、教頭に女性を増やしていく			
	40代	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	45.5	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	40.9	男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する	36.4
50代	男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する	45.7	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	37.2	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	36.2	
60歳以上	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する	50.3	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする		男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する	39.5	

<地域別>

すべての地域で、「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」が最も高くなっている。「男女平等の意識を育てる授業（男女必修で行なわれている技術家庭科など）をさらに充実する」、「学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする」も上位に入っている。

【図表 22-3 男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと（地域別）】

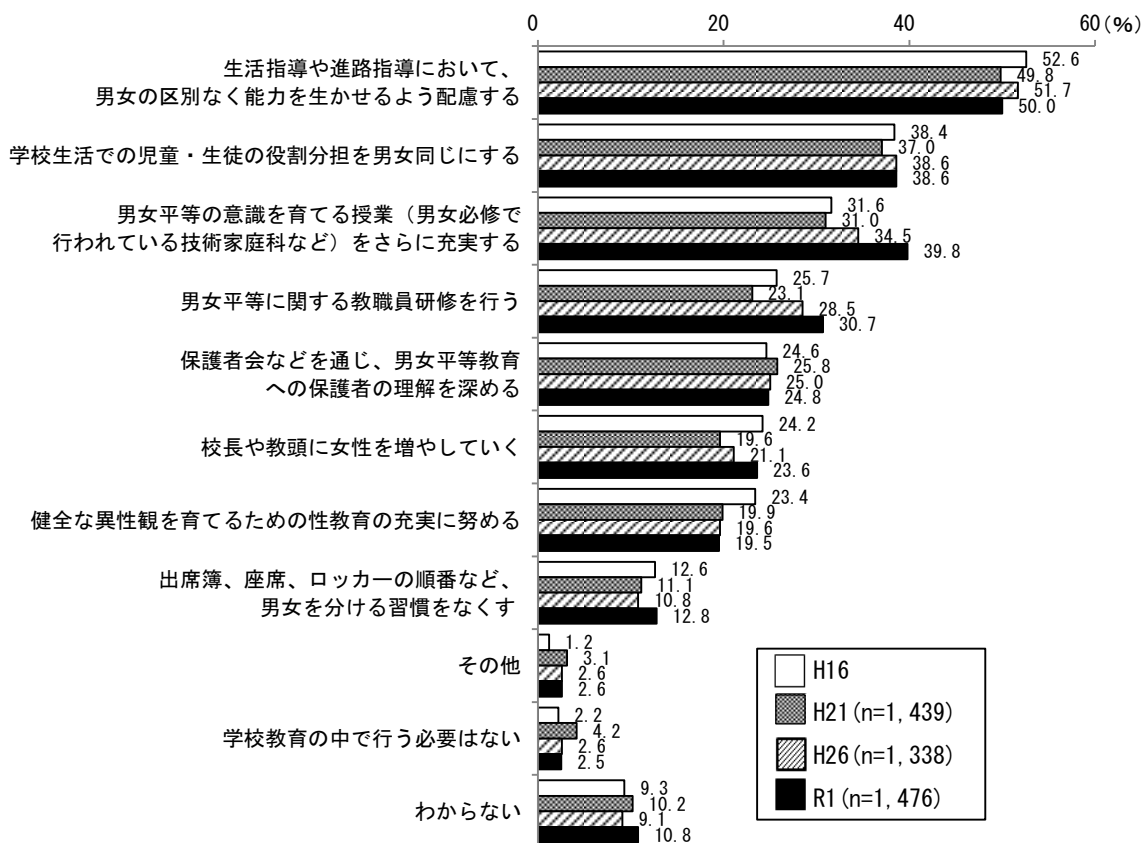
(単位: %)

	備前県民局管内	備中県民局管内	美作県民局管内
1位	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する 48.5	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する 47.8	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する 49.7
2位	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする 38.2	男女平等の意識を育てる授業（男女必修で行われている技術家庭科など）をさらに充実する 39.7	男女平等の意識を育てる授業（男女必修で行われている技術家庭科など）をさらに充実する 40.4
3位	男女平等の意識を育てる授業（男女必修で行われている技術家庭科など）をさらに充実する 36.7	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする 37.4	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする 34.4

<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、H21年調査から今回調査にかけて、「男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する」、「男女平等に関する教職員研修を行う」及び、「校長や教頭に女性を増やしていく」が上昇している。

【図表 22-4 男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと（過去の調査との比較）】



※数値を比較するため、無回答を除いて集計しています。